

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－
	○	衣料品専門店（経営者）	・現状がしばらく続くのではないかと思うが、客は大分ストレスがたまっていると考えられるので、12～1月の消費は少し上昇してくると期待する。
	○	家電量販店（店員）	・エアコン等の季節商材がけん引し始めているので、寒さが厳しくなれば販売数も伸びる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数は多くなっているが、今までの反動で消費が動くようになって感じる。
	○	通信会社社員	・離脱率の少ないプランを積極的に提案し、優良客を増やすような販売目標を立てたので、売上は増加すると思う。
	□	商店街（代表者）	・全国的に第3波が来ているようだが、当地域ではそこまで感染者が増加しているわけではない。しかし、忘年会、新年会等がキャンセルとなり、飲食店はかなりの打撃を受けて、なかなか景気の回復は見込めないと思う。
	□	スーパー（店長）	・多数の企業で年末のボーナス等が削減されている。この影響がいつ出てくるのか心配だ。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者が報告されると来客に急ブレーキが掛かり、落ち着くと少しずつ回復するという繰り返しの繰り返し先行きが見通せない。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍におけるニューノーマルとして、客単価の上昇はあるものの、来客数減少による売上減少はこの先も変化しないと思われる。
	□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が徐々に落ち着いてきたなかで、第3波が来たため、まだまだ来客数の伸びは期待できない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数によって大きく変わってくるが、このままでは良くはならないと思う。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、前年並みに販売台数も回復し、来客も増えてきている。
	□	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わると考えているが、ワクチンの有効性が確認できれば劇的に好転することもあると思う。
	□	観光型旅館（経営者）	・ワクチンの接種が始まらなると大きな流れは変わらない。
	□	タクシー運転手	・12月は忘年会シーズンで客が一番多い繁忙期だが、今年は予測が立たない。宴会用のテイクアウト商品ができたこともあって、少人数で家庭で済ませるのではないかと。1～2月は新型コロナウイルスの影響が収束しないことには見通せない。
	□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第3波もあり、客の動きも現在と大きく変わらず推移するのではないかと。
	□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況で12月もどうなるか分からない。
	□	設計事務所（所長）	・生活必需品関係の製造業や不動産関係には改善の兆しが出ているが、飲食店については再度休業するところが出始めている。
	▲	商店街（代表者）	・世界情勢、日本の状況、全てのファンダメンタルズはマイナス思考と考える。次の世情をリードできるのは何か、その方向性がみえるまで景気の上昇など考えにくい。
	▲	商店街（事務局長）	・年末商戦を迎えるこの大事な時期に新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増えてきている。政府の対応には期待が持てないことから、Go Toキャンペーンの恩恵のない業種、業態は年末年始に大変厳しくなると思われる。
	▲	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する自粛ムードが再び高まらない限りは、悪化しないと思われる。
▲	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルス感染症が再拡大すると、Go Toキャンペーン中止による行動規制の影響が考えられる。	
▲	百貨店（販売促進）	・全国的に新型コロナウイルスが感染拡大しており、来客数の減少が見込まれる。	
▲	スーパー（店長）	・今後新型コロナウイルスが感染拡大し、再度自粛生活を余儀なくされる等により、景気が悪くなると思われる。	
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスへの慣れとGo To Eatキャンペーンの影響で、外食需要の取り込みが弱くなる。	
▲	コンビニ（商品担当）	・政府の施策が楽観的過ぎて、一般人の感覚とズレが生じている。	

	▲	乗用車販売店（従業員）	・11月中旬以降の新型コロナウイルス感染者の増加傾向をみると、先行きは不透明であり余り期待できない。
	▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが再拡大し始めたので、少しの間、来客数は減少すると思われ、景気としては良くない状態である。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・年が明けるとほとんど売上は上昇しないので、少し悪くなると思う。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・寒くなると季節型インフルエンザと新型コロナウイルスがダブルで流行する懸念があり、年末年始においても人出の減少が見込まれる。
	▲	旅行代理店（営業担当）	・現時点ではGo To Travelキャンペーンが1月末で終了する予定であり、終了以降は客の動きが鈍化し、需要の予想も難しい。
	▲	通信会社（営業部長）	・現在はそれほど数値に現れていないが、今後は新型コロナウイルスの第3波の影響が出てくると感じている。
	▲	競輪競馬（マネージャー）	・冬になり、今後更に新型コロナウイルスの感染拡大が予想される。ワクチン、有効な治療薬等が早く安心して投与できるようにならない限り、消費の気運が起こらないため、買い控えや遊興費の縮小等が定着し、経済状況は伸び悩む。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況はまだ収束しないと思われる。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数減少に歯止めが掛からず、この傾向は、当分続くと思われる。ワクチンが行き渡らないと収束しないと思うので、半分諦めの境地である。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・小さな地方都市にとって、夜の街での立て続けのクラスターはショックが大きく、立ち直るのに時間が掛かりそう。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの第3波が全国的に到来しているなか、季節型インフルエンザとの同時流行で、ますます景気は悪化し消費者の財布のひもは固くなるだろう。
	×	コンビニ（店長）	・4月の外出自粛のときと同じような状況になりつつあり、特に夕方以降の来客数減少が著しい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍で家庭収入の減少もあり、悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・例年なら、忘年会、新年会シーズンではあるが、このままでは自粛要請を回避できないため、景気は確実に悪くなり、事業経営が苦しくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、キャンセルが相次いでいる。忘年会、新年会の書き入れ時に相当なダメージとなっており、先行きが全くみえず不安である。
	×	都市型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの一次停止により、12月の忘年会の予約が軒並みキャンセルとなり、また、宿泊についてもこの1週間くらいでキャンセルが続いている。現時点では、1月でキャンペーンが終わる予定なので、2月以降の予約は全く入っていない状況であり、非常に心配である。
	×	タクシー運転手	・冬になるとお遍路客もほぼいなくなるので、再び街にタクシーが増える。新型コロナウイルスの感染者は増加しており、Go To Travelキャンペーンもどうなるのか分からないので、良くなることはなく景気は落ち込むと思う。
	×	観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの第3波が到来し、Go To Travelキャンペーンが見直されると、人が動かなくなり、経済が回らないので、景気が悪くなることは容易に推測できる。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・各メーカーの受注状況をみても回復傾向にある。新型コロナウイルスの影響がどこまであるか不透明ではあるが徐々に良くなっている。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響が再拡大してきているので、除菌ウェットクリーナーの販売量が増える予想する。また、キッチンペーパーはステイホーム効果で売行きは良好である。
	○	化学工業（所長）	・現状では良くなる傾向と思うが、それも第3波の感染拡大次第である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、事業家のマインドが下がっているのは事実かもしれないが、逆境によりむしろ上がっているようにも感じる。私自身もそうだが、事業に意欲的な人が、増えつつあるのではないかと考えている。
	○	輸送業（経理）	・取引先から数か月先のオーダーが増加してきた。

	○	税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチン開発が進んだことにより多少は回復すると思う。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・現状の景気が悪い状態が続くと予想する。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの第3波や、米国で始まろうとしているワクチン供給の動向によって景気がどちらに触れるのか大きく影響する。
	□	建設業（経営者）	・公共事業の量に大きく影響される本業界においては、補正予算や次年度予算次第ではあるが、国土強靱化等への課題対応施策の継続が見通されており、約半年先までは大きな変化はなく推移すると見込まれる。なお、これから年度末に掛けて繁忙期に入るため、生産性は向上するものの、これは例年どおりの傾向である。
	□	建設業（経営者）	・今後、2～3か月は景気の変化はないと思う。
	□	通信業（総務担当）	・受注傾向等から通信回線、サービス等の主要商材の販売は今後も現状を維持すると思われる。しかし、新型コロナウイルスの第3波の拡大状況やその対策効果によっては先行きを読み切れないのが実情である。
	□	通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの第3波により、交通、レジャー関係の広告は控え目になり始めており、冬場は各社それに倣って控え目の予測である。だが、3月には活性化すると見込んでいる。
	□	広告代理店（経営者）	・Go Toキャンペーンの効果で少し回復傾向が見込まれたが、新型コロナウイルスの再拡大で客の販促計画が変更になり、販促広告削減やイベント中止の傾向が続く予想である。
	▲	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、忘年会を含めた年末需要が減る見込みで、業務需要の比率が高い品目を中心に厳しい販売が予想される。また、気温の低下から季節型インフルエンザの流行期に入ることから、新型コロナウイルス感染症と合わせ、経済活動が制約されることが想定される。
	▲	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、大都市における外食業界への時短要請、観光業界におけるGo To Travelキャンペーンの制限等により、製品需要が大きく減少すると予想される。
	▲	繊維工業（経営者）	・観光地に人が戻ったとはいえ、高齢者は新型コロナウイルスを恐れて出歩かず、若い人が多いので、消費は当社が販売する雑貨商品ではなく、飲食に集中している。在阪の百貨店の店頭も夏に比べて回復している。当社の販売先でもネット販売、若しくはネット中心の小売店からの注文は順調である。当社運営のネット販売も前年比で2倍と好調であり、この傾向は新型コロナウイルスが収まっても続き、今後の販売形態が変わってくると思われる。小売店によって違いはあるが、全体的にはまだまだ厳しく、当産地としては前年比で70～80%くらいである。
	▲	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの再拡大により、また動きが止まる。
	▲	輸送業（営業）	・新型コロナウイルス感染症については、11月初旬頃より感染が再拡大しつつあり、これから冬場に掛けて爆発的な感染拡大が危惧される。再び緊急事態宣言が発令された場合、5月並みの景気の落ち込みが予想されるだけに、取扱物量減少による売上減少を受けての経営圧迫は必至であり、今後の動向からは目が離せない。
	▲	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの第3波が急拡大していることから、改善傾向にある景気が再び減速する可能性が高い。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	民間職業紹介機関（所長）	・観光系の求人がやや回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第では逆に悪くなる可能性もある。
	□	—	—
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・長引く新型コロナウイルスの影響で採用を控える企業が多い。
	▲	人材派遣会社（営業）	・これから年末に掛けて、例年なら商戦のピークを迎える時期になるが、新型コロナウイルスの感染を懸念する自粛ムードがしばらく続くことで景気回復は厳しいと考える。
	▲	求人情報誌（営業）	・11月後半に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食、観光業界とその周辺業界ではダメージをかなり受け始めており、実際に休業や閉店が増え続けるだろう。

▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波の影響により、先行きが不透明な飲食業、観光業の求人が減少することが予想される。
▲	新聞社 [求人広告]（担当者）	・忘年会や冬休みの旅行などをみても、新型コロナウイルス禍で自粛傾向にあり、この冬は厳しい状況である。
▲	職業安定所（職員）	・高校、大学いずれも内定率が前年に比べ低下している。新型コロナウイルスの影響で、内定取消しなどが多く発生する懸念がある。
▲	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所から雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーンにより人の動きが増えてきて、状況は緩やかに改善していたが、現在は日本全体で感染者が増加傾向となっており、第3波襲来で状況が再び悪化すると思われる。
▲	学校 [大学]（就職担当）	・新型コロナウイルスの第3波が到来している。Go Toキャンペーンの見直し等の影響が出ると思われる。
×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、景気の先行きが不透明である。